

魅力ある農を体験・発信

農業部会では、地域の人に機殿の「農」をより知ってもらい、親んでもらおうとサツマイモ掘り、ジャガイモ掘りのイベントを計画、実行しています。

今年6月からサツマイモ、ジャガイモ、キャベツなどの植え付けを行い、11月9日にはサツマイモ掘りを実施。12月8日にはジャガイモ掘りを予定しています。

また、収穫したサツマイモ、ジャガイモ、キャベツは12月22日に開催する「はたどの祭



り」で焼き芋にして振舞ったり、販売も予定しています。

当部会では、この地域の農を地域内だけでなく、対外的にもアピールして地域振興につなげたいと考えています。地域の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第4回

開催

とき **12/22日**

開会 **9:45~**

閉会 **~15:00**

ところ **機殿小学校**

〒515-0127 松阪市六根町 16-1

お問い合わせ…平日 9:00~12:00

TEL:0598-59-0351

はたどのまちづくりだより に情報をお寄せください

「はたどのまちづくりだより」は、機殿まちづくり協議会の活動を地域の皆様にお知らせする広報として、年2~3回発行の予定です。
(都合により変更する場合があります)

まちづくり協議会の事業、各部会の事業のお知らせ、活動報告など、情報提供には参考資料としてチラシや要項、活動内容がわかる写真データなども添えてご提出いただくと助かります。



情報提供は
コチラまで

各部会の「広報編集委員」もしくは機殿地区市民センター内「広報編集委員会」まで。

TEL : 0598-59-0351

はたどの まちづくりだより

機殿まちづくり協議会 会報

第33号

2019.12.1 発行

発行: 機殿まちづくり協議会 広報編集委員会

TEL: 0598-59-0351

選択と集中!

まちづくり
協議会



機殿まちづくり協議会：会長 横井富夫

このタイトルは保津町の大西憲一さんの案です。

実は今、どの地区に行っても自治会と住民協議会の問題があり、そして色々な要因がある中で役員のみなり手の減少、行事の縮小問題が起きています。

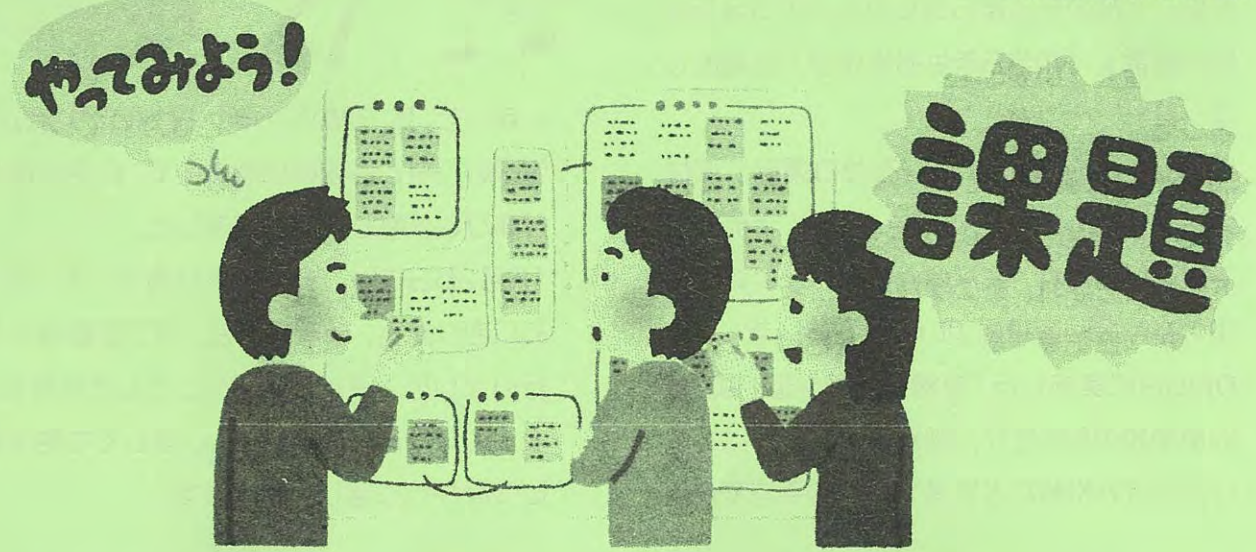
私が言うと役員さんからクレームがあるかもしれません。しかし、今この問題を少しでも解決するには何らかの手を打たないと大きな問題になると思います。

そこで、自治会と住民協議会で組織の改編、事業の見直しに手をつけました。

それが今回のタイトルです。この選択と集中で今までより少し退く部分もありますが、全ての事に積極的な選択と後退で集中した事業を行い、事態打開をはかりたいと考えています。

少子高齢化、防災・防犯、福祉問題などに対処するためには決断しなければなりません。皆さん！機殿のために自身のために結束してご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

※執筆者の希望により最小限の編集で原文を掲載しています



防災訓練・研修講演事業を終えて

安全部会

10月20日、機殿全地区を対象とした「防災訓練・研修講演」を行いました。

当日は、雨も上がり大勢の方に参加、ご支援いただき、ありがとうございました。

午前8時、各地区で「櫛田川の水位が氾濫危険水位に到達し避難勧告レベル4が発令されました。櫛田川氾濫の恐れがあります。直ちに各地区避難場所へ避難してください」と訓練放送を開始。これを合図に一次避難を実施し、372名の方が参加されました。続いて、小学校への二次避難を開始。近くの方は徒歩で、遠くの方は自動車を使い118名の方が参加されました。防災訓練では、昨年度は雨で中止となった「土嚢積み体験」を実施。消防団のテキパキとした行動に感心しながら土嚢積み体験しました。



また、昨年と同様に「給水体験」も実施し、給水袋の重さを実感したり、試飲をしました。同日10時からは「研修講演」として、松阪市防災対策課による出前講座を行いました。実際に機殿小学校体育館2階に保管されている防災用備蓄品を例に、防災用備蓄品とその使用方法を解説。参加者はプライベートルームの組立、非常用排便収納袋の使用、発電機の始動、実際の避難スペースなどを体験していただきました。

「炊き出し訓練」では非常食として、上川町にある障害者就労施設『ぱんカンぱん』で製造された災害備蓄用パンの缶詰を配布。柔らかなままで5年間の長期保存ができ、缶切り不要のイージーオープン缶が採用されています。今回の訓練では、雨で屋外での訓練ができない場合を想定して屋内での訓練を準備したり、二次避難の受付方法をスムーズに行うなど、昨年度の教訓を反映して開催しました。今年も千葉県等を中心に台風による甚大な風

水害が発生しており、自然災害は年々増加傾向にあります。原因としては温暖化による影響と言われており、私たちもひとりひとりがCO2削減に取り組む必要性を感じます。また同時に、櫛田川流域である地域の最大の課題である風水害にどう対処していくのかが問われています。「自身の身を守るには?」、「実際に避難勧告が出たら?」など、ご家族でも話し合ってください。

地域愛育む 子どもの頃の体験

環境・エコ推進部会



環境・エコ推進部会では、今期も「ごみゼロ運動」、「花のあるまちづくり」、「生ゴミを堆肥化講習」、「小学5年生お米作り」を実施しました。

5月26日に実施した「ごみゼロ運動」には169人が参加していただきました。上流側と下流側に分かれ、東久保から井口までの櫛田川の右岸堤防道路周辺のごみを拾いました。9月6日に実施した「有機米体験学習」は、機殿小学校の5年生が、稲刈り、結束、はさ掛け、足踏み脱穀などを昔ながらの手法で体験

しました。皆、初めてのことばかりでしたが、学校の授業とは違い自然の中で、生き生き伸び伸びと体験してもらいました。10月25日には、お米の水分測定、米つき、おにぎり試食、感想発表会、修了証書授与を行いました。子どもの頃のこうした体験を、大人になった時に思い出し、少しでも地域愛につながれば嬉しく思います。

健康講座と 集落座談会 開催

健康福祉部会



健康福祉部会では今期も健康講座事業と集落座談会を実施しました。

8月24日に実施した健康講座は「朝からしっかり！ バランスごはん」をテーマに、市の健康センター『はるる』から管理栄養士の水谷さんを招いて講話を聞きました。講座後半は「私の食生活 心がけていること」についてワークを実施。参加者自身の食生活について意見を出し合いました。9月から10月にかけて実施した集落座談会では、「もっと体を動かそう！」をテーマに、

それぞれの自治会で座談会を開催しました。小スペースでもできる“やさしい体操”のほか、「私の健康の秘話」を参加者から聞き、地域で共有しました。地域コミュニティの関係性をより良くするためにも、座談会の機会を作ることも大切だと感じました。これからも当部会の取り組みにご理解とご協力をお願いします。